

いよいよ今年もあと数えるほどになりました。今年を振り返りますと、私達の業界で最大のニュースは太陽光の買取中止ではないでしょうか。管元首相が、辞任と引き換えに通した法案ですが、功罪が叫ばれています。

功は、第一に再生可能エネルギーを急速に普及させた事、第二にそれに伴う太陽光パネルの劇的な価格の低下。第三に冷房需要の多い夏場に発電す

る事、第四に非常用電源の確保等々です。

さて、負の面ですが、第一に現在申請済み物件の20%しか稼動していない事。第二に電気

今日 つれづれ



神戸 睦史
(ハウゼコ)

第五に現在でもなんとか自給できているのに、認可済み未稼働太陽光の稼動と、今後原発稼動が本格化する見通しである事等々で

代が上昇する見込みである事、第三に送電線がボトルネックになる事、第四に日照時間によって不安定になる事、

赤字は、今後太陽光と原発の再稼動で縮小する見込みですが、原発の再稼動に対する意見も賛否両論です。来年はそれらの問題点に対する見通しが政府

から出される年になると思われます。

す。先輩のヨーロッパの国々では、既に国民負担の大きさが問題になり縮小しました。現在の大幅な貿易

途上国に旅行に行きますと、いかに日本人が電気を使わずに生きていくか意識させられます。普段の生活から見直していくことが大事なのか？考えさせられるテーマです。